

地域学校協働活動推進員等について

回答数…191人

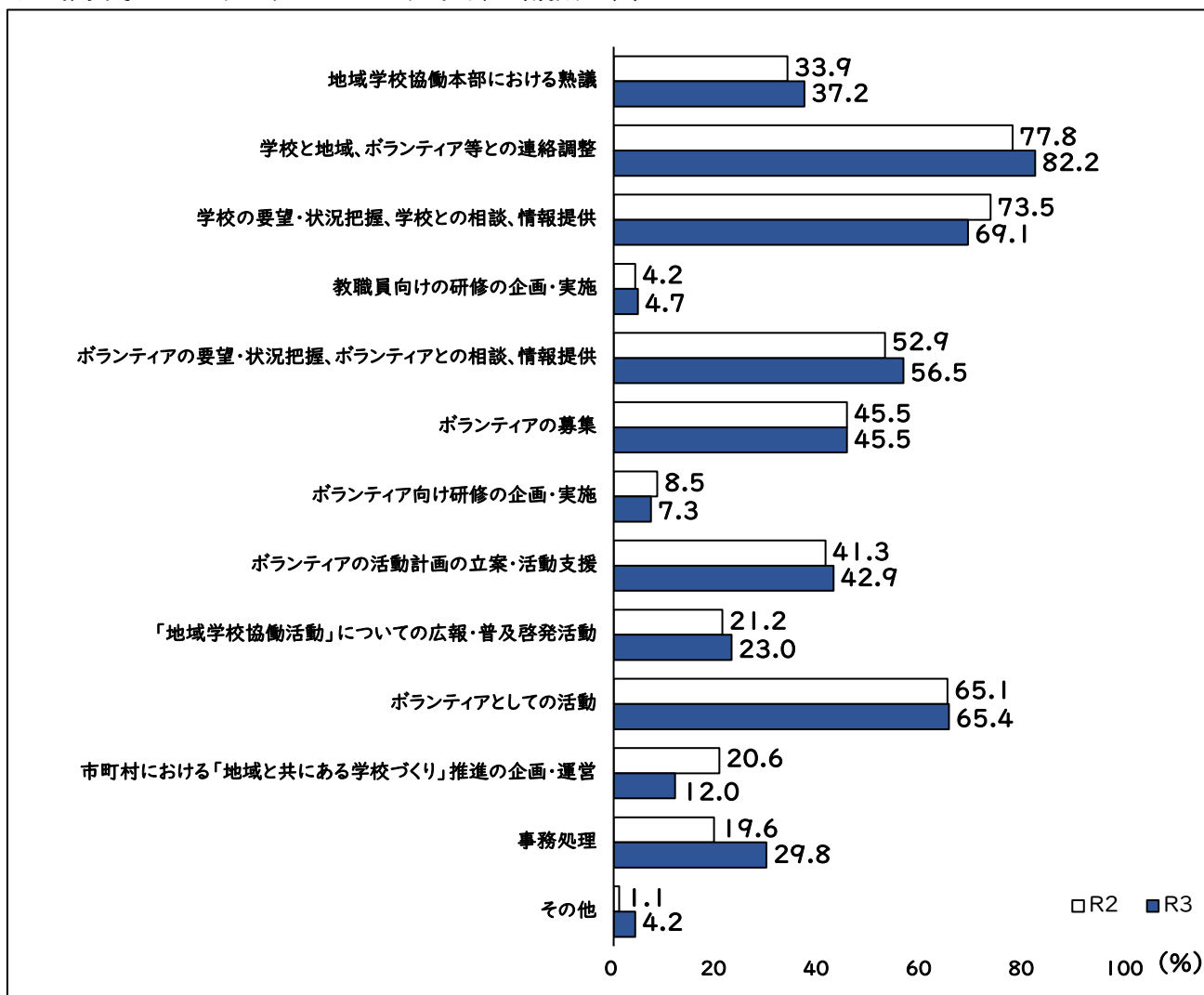
地域学校協働活動推進員等の現状について

(昨年度)

- (1) 1か月の平均活動時間数 9.6時間 (9.1時間) ※県平均値
 (2) 1か月の平均学校訪問回数 3.7回 (3.5回) ※県平均値

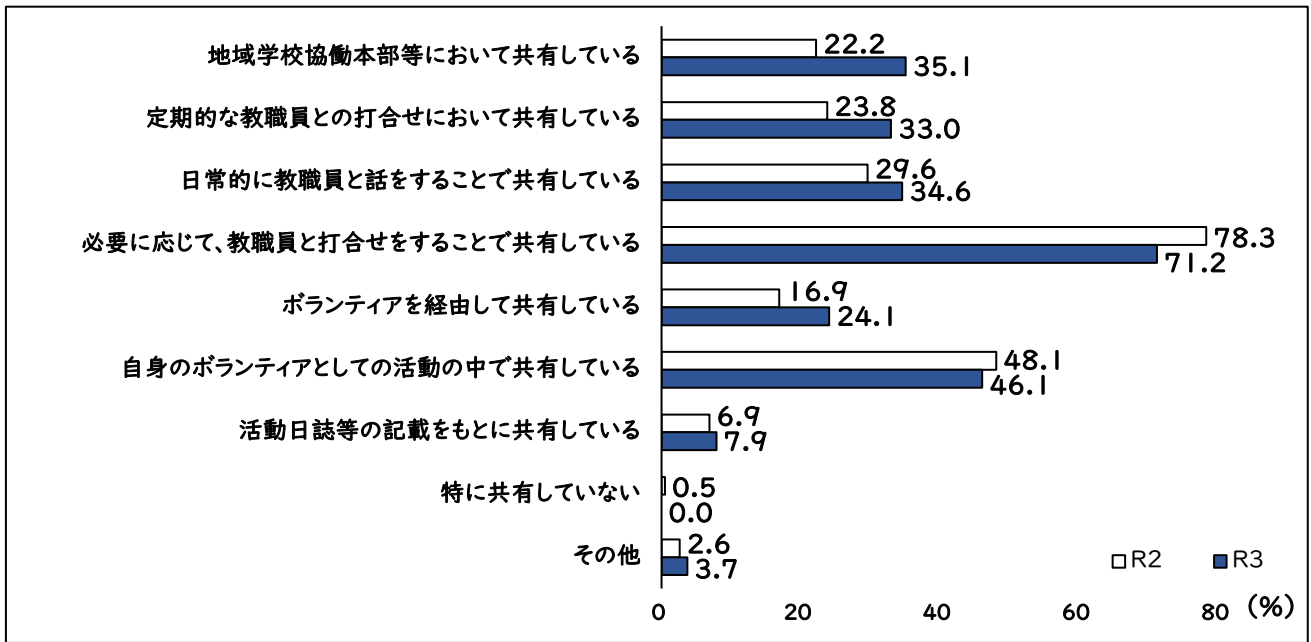
地域学校協働活動推進員等としての活動について

◎地推員等として取り組んでいる活動内容（複数回答）



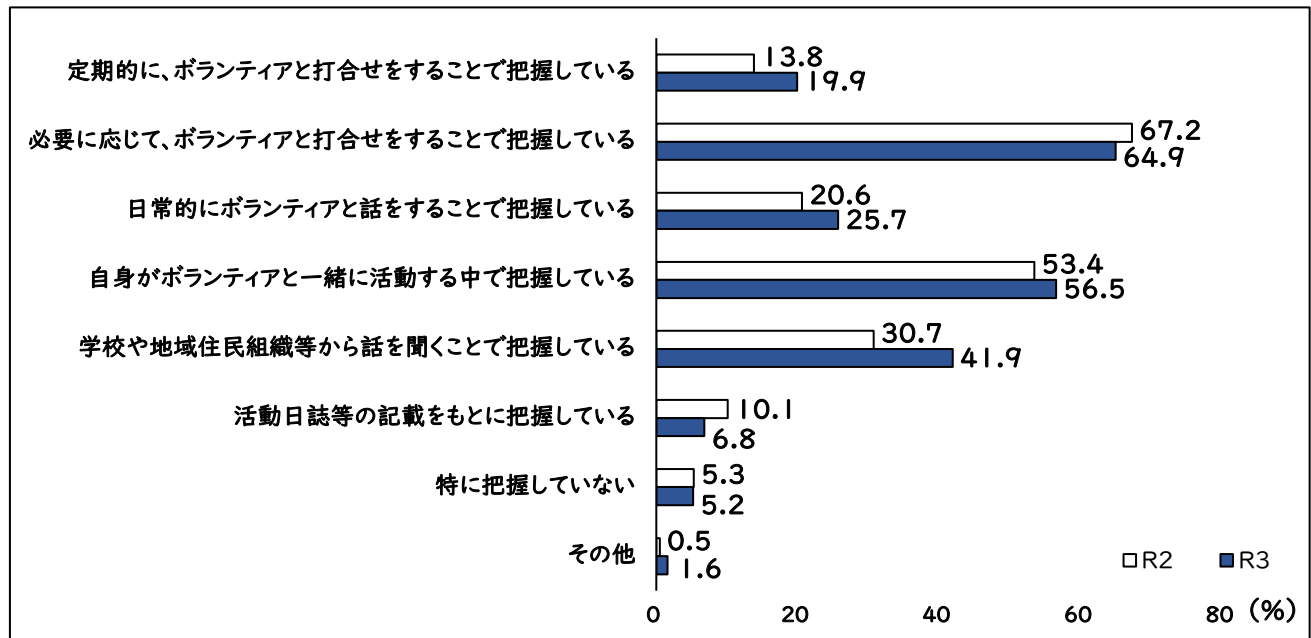
○地推員等として取り組んでいる活動内容は、自身の「ボランティアとしての活動」だけでなく、「学校と地域、ボランティア等との連絡調整」、「学校の要望・状況把握、学校との相談、情報提供」、「ボランティアの要望・状況把握、ボランティアとの相談、情報提供」など多岐にわたっています。

◎学校との情報共有の方法（複数回答）



- 「必要に応じて、教職員と打合せをすることで情報を共有している」の割合は、前年度同様に最も高いですが、「定期的な教職員との打ち合わせにおいて共有している」、「日常的に教職員と話をすることで共有している」の割合が増加しています。
- 「地域学校協働本部等において共有している」、「ボランティアを経由して共有している」の割合が増加しました。

◎ボランティアの要望把握の方法（複数回答）



- 「必要に応じて、ボランティアと打合せをすることで把握している」、「自身がボランティアと一緒に活動する中で把握している」の割合は、前年度と同様に高いですが、「定期的に、ボランティアと打合せをすることで把握している」、「日常的にボランティアと話をすることで把握している」、「学校や地域住民組織等から話を聞くことで把握している」の割合が増加しています。

地域学校協働活動推進員等としての役割が認知されてきています。

- 自らのボランティアとしての活動だけでなく、学校と地域、ボランティアの方々との間をつなぐ活動は、地推員等の基本的かつ重要な役割です。
- 地域学校協働本部及び学校運営協議会の場だけでなく、教職員やボランティアと、日常的に連絡を取り合い交流することが大切です。コロナ禍において、参集しての会議等は難しいですが、学校と地域、ボランティアの方々との間をつなぐ活動を引き続きお願いします。
- 人と人とのつながりを広げるためにも、PTAなどへの地域学校協働活動の広報・普及啓発活動を積極的に進めていただくようお願いします。

その他（地域学校協働活動推進員等の意見）

- 高齢化のため、ボランティアの募集が難しく、今後の活動が継続できるか心配しています。多くの地域の方や保護者の方に活動に関わっていただきたいと考えています。
- 地域学校協働活動について保護者や地域住民に対して広報したり、発表したりしていくことの必要性を感じています。
- 地域学校協働活動を進める上で、学校の実情と地域の思いをしっかりとすり合わせていく熟議の重要性を感じています。
- コロナ禍で様々なことが制限されていますが、そのような社会情勢の中でも取り組むことができる地域学校協働活動を模索し、持続可能な活動となるようにしていきたいと思っています。
- 他の地域学校協働本部との交流を大切にしていきたいと感じています。